

---

# 俺と妖霊と召喚獣(仮)

ナサニエル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺と妖霊と召喚獣（仮）

### 【Nコード】

N3927Q

### 【作者名】

ナサニエル

### 【あらすじ】

ちよっとした予告。 <バカとテストと召喚獣>の二次創作。

## （前書き）

何となく書いてみた。

部屋の空気がすーっと冷たくなった。カーテンが凍りつき、天井の照明に厚い氷の膜が張り、

白熱していた電球も輝きを失った。あたり一面に芯を切ったろうそくが浮かび上がって、

毒きのこの大群のように見える。暗くなった部屋には、むせ返るような硫黄の煙がたちこめ、

ぼんやりとした黒い影が身もだえして暴れだした。

遠くで無数の叫び声が聞こえる。と、とつぜん、階段に通じるドアに大きな力がかかった。

ドア板が内側にたわみ、きしんだ音をたてる。

目に見えない何かが近づいてくる足音。ぶつぶつ文句をいう声も、ベッドの後ろや机の下のほうから聞こえてくる。

硫黄の煙が帯の形をとりはじめた。そこから巻きひげのような煙が何本も出たかと思うと、

下のように空気をひとなめしてひっこんだ。煙の帯は <sup>ペン</sup>五線星の魔法円 <sup>タクル</sup>の上をただよい、

噴火した火山の煙のように、天井に向かって昇っていく。

そしてその動きが止まった瞬間、煙の真ん中からギョロツとした黄色い二つの目が顕れた……。

少年が好奇心により呼び出したのは妖霊。

「め、命令を……く、ください。な、名を……な、名乗れ」

「バーティミアス」

中級レベルの魔神<sup>ジン</sup>。

「もう一度聞く。おまえはその昔、魔術師に呼ばれプラハの壁を修復したあのバーティミアスか？」

「俺はバーティミアス！ジン族のサカル、つわものヌゴースにして

銀の翼を持つ蛇だ！

最古の都市シュメールのウルクの城壁も、カルナックの神殿の壁も、プラハの壁も立て直した。

ソロモン王と喋った事だつてある。平原に棲むバッファローの祖先と競争した事もな。

古代ジンバブエの盛衰も見守った。最後には石壁が倒れて、

犠牲になった人間をジャッカルが貪り食ったが、それも見守った。

そのバーティミアスだ！

どうやら一人前の魔術師はいないようだな。さてと……小僧、今度はお前が答える番だ。

俺を呼んだお前こそ誰だ？」

「本来は答えると駄目らしいがあえて答えるよ。僕の名前は桐咲朱雀」

「！？……何故答えた？」

その少年と呼び出されたバーティミアスがつむぐ物語。

「行くよ！レカイト！！」

「その名前で俺を呼ぶんじゃねえ！！」

俺と妖<sup>ジン</sup>霊と召喚獣始まります。

## （後書き）

本編を読んできた方々は感想にて。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3927q/>

---

俺と妖霊と召喚獣(仮)

2011年1月28日05時47分発行